

株式会社鳥居セメント工業

製造業(テラゾ製品)

平成29年度 ものづくり技術

H29



一般型

デザイン性の高い大型テラゾ製品で
新たな可能性にチャレンジ

今回導入した反転式バキュームリフトと天井クレーン

会社の概要

当社は、デザイン性の高いテラゾタイルを主力に、コンクリート製タイルの企画や製造、保守を行っている。

テラゾタイルは、セメントに細かな石を混ぜ込んで作る人造大理石で、当社ではオーダーメイドでさまざまな要望に合わせ、天然石の質感を再現したデザイン性に優れたテラゾ製品を製造している。

当社は、昭和24年にコンクリート2次製品の製造を始めた。36年には「有限会社 鳥居セメント工業

所」となり、その後、空洞コンクリートブロックにおいてJIS指定工場に認定された。46年からは、規格サイズであるテラゾタイル、舗装用コンクリート平板の製造を始め、51年に「株式会社 鳥居セメント工業」となった。さらに60年にはテラゾブロックの製造を開始。その後は空洞コンクリートブロックの製造を中止し、現在はテラゾ製品のみを製造している。

当社の製品は、これまでにJRの東京駅や京都駅など、全国各地の駅のホームやコンコースをはじめ、ショッピングセンターや百貨店など

の商業施設、学校や公園などの公共のスペースなどの床材や壁材として広く使用されている。

補助金事業の内容

テラゾタイルは、量産型の40cm×40cmや30cm×30cmが主力である。しかし、近年は、大きなサイズのことを求められることが増えており、外国製で60cm×60cmの安いタイルが使われるケースも多くなっていた。

当社が受注する仕事は、公共機関からのものが9割近くを占める。これらの仕事は工期や金銭的な制約が多いこともあり、将来的に民間からの受注も増やすため、より幅広い要望に応じていきたいと考えていた。そこで、規格外の大きなテラゾタイルを作るために機械装置を導入することにしたのである。

今回の事業採択により導入したのは、鋼製型枠、テーブルバイブレーター、反転式バキュームリフト、天井クレーンである。

大きなテラゾタイルを作るための150cm×150cmの鋼製型枠、大きな型枠に入れたモルタルを振動で締め固めるためのテーブルバイブレーター、サイズが大きくなれば当然重量も増えるため、重いテラゾタイルを持ち上げて移動させる際に必要な反転式バキュームリフトを導入。そ



規格サイズのテラゾタイルの製造作業

会社データ

創業 昭和24年
設立 昭和52年2月19日
代表 鳥居 照子
所在地 富山市町村122
TEL/FAX TEL:076-425-1538 FAX:076-492-1644
E-Mail info@j-torii.co.jp
U R L http://www.j-torii.co.jp
資本金 4,200万円
従業員数 16人
取扱製品 テラゾ製品、その他土木製品

れらを吊り上げる天井クレーンはもととあった2機に、さらに2機を増設した。

補助金事業の成果

当社の仕事は受注生産であるため、依頼を受けてから素材を提案し、試作を繰り返して要望に合うものを作る。大型テラゾ製品の製作が可能になったことで、これまで断らざるを得なかった大型製品の仕事が受注できるようになった。設備の導入により生産性も向上した。

また、製品のデザイン性も向上。小さなサイズのものをつなげると継ぎ目が多くなるが、デザイン性を考えた場合、その継ぎ目が問題になる。大きなサイズのものを使えば継ぎ目が減り見た目も美しく、デザイン性の向上につながっている。

製品の用途はお客様が決める。当社の製品には、東京の美術館の床材、ホテルのメインカウンター、ショッ

プのショーケースの腰壁に使われているものもあれば、オブジェとして空間を彩っているものもある。

今後の展望

当社では、今後もテラゾ製品のさらなる可能性を探り、要望に沿ったデザイン性の高い製品を手がけていきたいと考えている。

これまで民間から受けた依頼の中には、製作に半年から2年かかるものもあった。長丁場になり大変ではあるが、一から作り上げる面白さや楽しさがある。

2年ほど前には、富山ガラス工房とのコラボレーションで展示会に出品する作品を制作した。ガラス作品やガラスの端材と、テラゾとのマッチングによって、テラゾ製品の新たな可能性を見出すことができた。今後は、大型テラゾ製品の需要が多い海外にも視野を広げ、“面白い仕事”にチャレンジしていきたい。



ショールームに並ぶ商品サンプル



富山ガラス工房と共同制作した展示会出品作品



当社のテラゾ製品が使われたJR上野駅のホーム